



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 サンゲツ

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	32,549	2.4	2,041	△7.2	2,292	△1.2	1,815	13.4
28年3月期第1四半期	31,774	△1.1	2,199	27.1	2,320	18.0	1,601	23.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 1,318百万円 (△27.6%) 28年3月期第1四半期 1,821百万円 (0.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	26.79	26.76
28年3月期第1四半期	22.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	138,490	106,854	77.1
28年3月期	139,220	108,517	77.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 106,815百万円 28年3月期 108,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	22.50	—	25.00	47.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,600	3.6	4,030	△11.6	4,290	△9.9	2,960	△8.2	43.33
通期	140,000	4.5	9,000	△1.2	9,500	0.4	6,300	△1.5	92.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	68,570,000 株	28年3月期	69,170,000 株
29年3月期1Q	892,633 株	28年3月期	863,193 株
29年3月期1Q	67,747,228 株	28年3月期1Q	72,496,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成28年4月1日～6月30日)のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が見られたものの、世界経済の減速懸念や情勢不安など景気全体の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社事業に関連の深い住宅市場においても、新設住宅着工戸数が本年1月から5ヶ月連続で前年比プラスとなりましたが、6月はマイナスに転じるなど予断を許さない状況です。

このような状況のもと、当社グループでは2014年6月に発表した“中期経営計画(2014-2016) Next Stage Plan G”を着実に実行して参りましたが、本年最終年度は、次世代の成長の仕込みとして、物流拠点の新設や、基幹システムの再構築及び新物流システムの導入に向けた準備を進めています。また、本年4月には新しいブランド理念“Joy of Design”を発表。全てのステイクホルダーへの浸透を進め、空間づくりにおけるインテリアのトータルデザインをサポートする企業としての認知を高めて参ります。

当第1四半期の連結業績は、売上高32,549百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益2,041百万円(同7.2%減)、経常利益2,292百万円(同1.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,815百万円(同13.4%増)となりました。

(インテリア事業)

壁装事業では、高付加価値商品を掲載した主力見本帳「リザーブ」を5月に発刊。「ペットとともに暮らす」や「子どもと一緒に遊ぶ」など5つのコンセプトに基づいたコーディネートレシピを提案し、消費者がご自身の嗜好を明確にし選定しやすい工夫が好評を得ました。この結果、壁装材の売上高は13,691百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

床材事業では、非住宅分野におけるインバウンドを追い風とした商業施設や宿泊施設の改装需要獲得に努めました。また一般住宅向けには、豊富なカラーバリエーションとDIYの要素やデザイン提案を盛り込んだカーペットタイル見本帳「スタイルキット」を発刊し、新たな市場開拓に努めました。これらの結果、床材の売上高は9,801百万円(同3.1%増)となりました。

ファブリック事業では、トレンドセミナーを開催するなど昨年発刊した「ACカーテンファブリックス」や「サンウィング」の販促を強化しましたが、カーテンと椅子生地をあわせたファブリックの売上高は1,803百万円(同1.4%減)となりました。

これらの他、施工代などを含むその他の売上2,449百万円(同5.8%増)を加え、インテリア事業における売上高は27,745百万円(同1.7%増)、営業利益は1,902百万円(同15.2%減)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、住宅市況は回復基調となりましたが、他社との競争は益々激化しています。そのようななか、営業体制の再構築と工事力の強化、また関東地区での伸長により、エクステリア事業における売上高は3,736百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は110百万円(同93.7%増)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、昨年より専門特化したソリューション営業を継続したことで宿泊施設や公共施設での受注が拡大しました。この結果、売上高は1,073百万円(前年同期比28.4%増)、営業利益は28百万円(前年同期は営業損失96百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、前期末に比べて729百万円減少し、138,490百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて1,663百万円減少して106,854百万円となり、自己資本比率は77.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月16日発表のとおりで変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,802	26,466
受取手形及び売掛金	38,461	36,177
電子記録債権	7,113	8,098
有価証券	300	3,300
商品及び製品	10,165	11,067
仕掛品	146	57
原材料及び貯蔵品	1,403	1,582
その他	1,673	1,348
貸倒引当金	△239	△275
流動資産合計	88,825	87,823
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,354	19,494
その他 (純額)	11,649	12,725
有形固定資産合計	31,003	32,220
無形固定資産		
その他	1,295	1,569
無形固定資産合計	1,295	1,569
投資その他の資産		
投資有価証券	12,489	11,131
その他	5,877	5,964
貸倒引当金	△271	△220
投資その他の資産合計	18,095	16,876
固定資産合計	50,395	50,666
資産合計	139,220	138,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,200	11,681
電子記録債務	3,769	7,518
未払法人税等	1,794	583
賞与引当金	1,450	870
資産除去債務	222	223
その他	3,278	3,414
流動負債合計	22,716	24,292
固定負債		
役員退職慰労引当金	94	91
退職給付に係る負債	6,816	5,916
資産除去債務	447	448
長期未払金	0	257
その他	627	630
固定負債合計	7,986	7,344
負債合計	30,702	31,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	76,185	75,083
自己株式	△1,748	△1,796
株主資本合計	108,058	106,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,909	2,123
為替換算調整勘定	△237	△240
退職給付に係る調整累計額	△2,268	△1,976
その他の包括利益累計額合計	402	△93
新株予約権	55	39
純資産合計	108,517	106,854
負債純資産合計	139,220	138,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月 30 日)
売上高	31,774	32,549
売上原価	22,577	22,842
売上総利益	9,197	9,707
販売費及び一般管理費	6,997	7,665
営業利益	2,199	2,041
営業外収益		
受取利息	7	1
受取配当金	63	67
不動産賃貸料	22	21
持分法による投資利益	—	100
その他	41	72
営業外収益合計	134	263
営業外費用		
支払利息	0	0
手形売却損	0	0
自己株式取得費用	8	7
その他	4	3
営業外費用合計	14	12
経常利益	2,320	2,292
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	1	—
退職給付制度終了益	—	108
その他	0	—
特別利益合計	2	108
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	22	2
特別損失合計	22	2
税金等調整前四半期純利益	2,300	2,399
法人税、住民税及び事業税	476	463
法人税等調整額	222	120
法人税等合計	699	584
四半期純利益	1,601	1,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,601	1,815

(四半期連結包括利益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
四半期純利益	1,601	1,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194	△786
退職給付に係る調整額	26	283
持分法適用会社に対する持分相当額	—	6
その他の包括利益合計	220	△496
四半期包括利益	1,821	1,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,821	1,318

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	27,277	3,672	824	—	31,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	11	△11	—
計	27,277	3,672	836	△11	31,774
セグメント利益又は損失 (△)	2,242	57	△96	△2	2,199

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	27,745	3,736	1,067	—	32,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	6	△6	—
計	27,745	3,736	1,073	△6	32,549
セグメント利益	1,902	110	28	△0	2,041

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は平成28年7月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得に係る事項について決議しました。

1. 自己株式の取得を行う理由

中期経営計画(2014-2016) Next Stage Plan Gにおける資本政策に基づき、資本効率の向上と株主還元拡大を図るため、自己株式の取得を行うものであります。

2. 自己株式の取得の内容

- | | |
|---------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 500,000株(上限)
(平成28年6月30日時点の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 0.73%) |
| (3) 株式取得価額の総額 | 1,000百万円(上限) |
| (4) 取得期間 | 平成28年7月11日から平成28年10月31日まで |
| (5) 取得方法 | 証券会社の投資一任方式による買付 |